

しんぶん赤旗

2024年7月3日

東京都あきる野市上空を飛行する横田基地の米空軍CV22オスプレイ2機（日本共産党・たばたあずみ市議撮影）



オスプレイ 無通告再開

横田基地 全ての飛行停止措置後初

在日米軍横田基地（東京 都福生、羽村、昭島、立川、武蔵村山の5市と瑞穂町）に配備されている米空軍特殊作戦機CV22オスプレイが2日、無通告で飛行を再開しました。昨年11月29日に同基地のCV22が鹿児島県屋久島沖で墜落し、12月6日に米軍が全てのオスプレイの飛行停止措置をとって以降、同基地での飛行は初めて。米軍や防衛省からの周辺自治体への事前通告はありませんでした。

後、同15分ごろ着陸したのを目視で確認しています。青梅市や、あきる野市でも目撃され、あきる野市役所上空の飛行を撮影した、日本共産党の、たばたあずみ市議は「いつ飛び始めるか」と不安に思っていました。再開したことに怒りを覚えます。市になんの説明もないままの再開は自治体軽視です。市役所北側には中学校もあり、なかあったときに子どもたちが犠牲になることはあってはならない」と話します。党市議団は同日、市に対し政府と米軍に抗議し飛行停止を求めよう要請しました。

許しがたいただちに中止を

オスプレイ再開 小池書記長会見

防衛省北関東防衛局からの周辺自治体への情報提供によると、同局職員が、同日午前11時ごろCV22が1機離陸し、基地周辺を巡回

日本共産党の小池晃書記局長は2日、国会内で記者会見し、横田基地所属の米空軍CV22オスプレイが飛行再開したことについて、「許しがたいことだ」「飛行をただちに中止を」と主張しました。

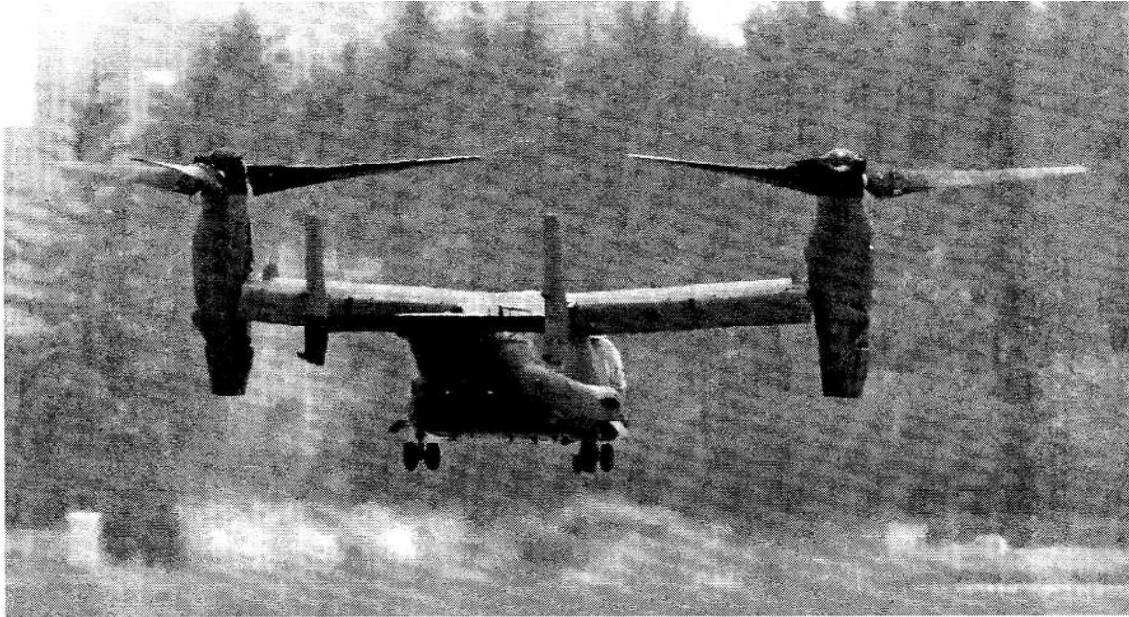
小池氏は「CV22機は昨年11月に屋久島沖で墜落事故を起こしており、防衛省は事故原因の説明を受けたとしていますが、国会と国民にはいまだ何の説明もな

た。東京平和委員会の岸本正人事務局長は「安全上のリスクがあると米政府内でも問題視され、飛行が制限されているなかで、無通告で飛行を再開するのは許されません。怒りをもって抗議します。9日に防衛省要請を行います」と話しています。

今回飛行再開した CV-22B (12-0066) は昨年11月29日の事故の前日、横田基地周辺を重機関銃を住宅地に向け飛び回っていました。



い」「米軍は安全対策をとっていると言っているがどのような対策であるかも明らかになっていない」と指摘。「これは許しがたいことだ。沖縄でも横田でも、日本のどこでも危険な軍用機オスプレイは飛ばすべきではない。飛行をただちに中止し、撤去することを改めて強く求めたい」と語りました。



東京・横田基地を離陸する米空軍特殊作戦機C
V22オスプレイ＝8日（羽村平和委員会提供）

横田基地オスプレイ飛行再開に怒り

命と安全を軽視 8日も飛行強行

在日米軍横田基地（東京都多摩地域）配備の米空軍特殊作戦機C V22オスプレイが周辺自治体に無通告で飛行を再開（2日）したことに、周辺自治体が「遺憾」を表明し、住民からは不安や怒りの声が上がっています。米軍は、飛行は認めたものの飛行ルートなど詳細は一切公表せず、飛行を続行しようとしています。

横田基地のC V22は、8日も飛行。羽村平和委員会が、午前11時29分、午後2時31分、午後4時55分、5時3分の3回の飛行を確認しました。

第374空輸航空団広報部は、本紙の問い合わせに対し2日、同基地配備のC V22が鹿児島屋久島沖で墜落した昨年11月以来の飛行を行ったと認めました。しかし、当日の飛行ルートや空域などは「作戦上の安全上の理由から、飛行ルートを含む運航の詳細は公表していない」と明らかにしていません。横田基地ホームページのニュースは、「飛行可能への復帰は、自由で

開かれたインド太平洋を維持する日米安保条約に基づく米国の義務を順守する上で重要だ」として、今後も飛行を続ける姿勢を示しました。

飛行再開の目視情報を周辺自治体に提供した防衛省北関東防衛局は、順次運用を行っていくと認識しているなどとして飛行を容認。今後の飛行情報は「米軍の運用に関することで明らかにしてない」として、自治体に提供しないことを明らかにしています。

周辺5市1町でつくる基地対策連絡会は3日、米軍と防衛省への要請で「事前の通告もなく飛行を再開したことは地域住民の不安をさらに高めるもので誠

に遺憾」だとして、安全対策、再発防止策の徹底と事故防止の万全の措置を講ずることなどを求めました。

日本平和委員会は3日発表した抗議声明で、米軍自身が屋久島沖の事故について「どの部品が故障したかはわかっていないが、なぜ故障したのかその理由はまだわかっていない」とし、クラッチの不具合についても「再設計されたクラッチを持つまではリスクを除去したことはならない」と議会で証言していると指摘。「飛行再開を強行するなど、住民の命と安全を無視した暴挙以外の何物でもない」と批判しました。